

(以下は、2024 年 8 月 29 日にシンガポールから発表されたリリースの抄訳版です)

JLL が 2000 年以降に支援した日本におけるホテル取引が 1 兆円を突破

空前のホテル投資需要を背景に 2024 年の日本のホテル投資額は過去最高額に達する見通し

東京 2024 年 8 月 29 日 – 総合不動産サービス大手 JLL (本社: 米国シカゴ、CEO & プレジデント: クリスチャン・ウルブリック、NYSE: JLL) のホテルズ&ホスピタリティグループは、2000 年以降に JLL が日本のホテル取引において支援した取引が 1 兆円 (68 億米ドル) に達したことを発表しました。今後も、長期的な日本のホテル資産投資の需要喚起と各市場での専門的なアドバイザー体制の強化を目指します。

JLL は、シンガポールの投資家が所有する「スマイルホテル浅草」の売却取引支援を通じて今回の記録を達成しました。「スマイルホテル浅草」は、客室数 96 室を擁し、訪日観光客からの人気が高い浅草の中心地に位置しています。日本政府観光局 (JNTO) のデータによると、浅草のような観光エリアはインバウンド需要の恩恵を受けており、2024 年 1-5 月の訪日外客数は 1460 万人、2019 年同月比では 6.5% 増となっています。

JLL ホテルズ&ホスピタリティグループ エグゼクティブ ヴァイス プレジデント チャーリー・マックルダウィは次のように述べています。「日本銀行による 15bps の利上げにも関わらず、日本のホテルセクターは他国と比較しても極めて魅力的なキャッシュ・オン・キャッシュ利回りを提供しています。加えて、JLL のデータによると、建設費用の高騰から、ホテルの新規供給見込みは極めて低調です。旺盛な需要と限定的な供給により、今後の RevPAR (客室当り売上高) も堅調に推移すると予想され、投資家もこの状況を認識しています。」

このような投資家需要を背景に、日本における 2024 年上半期のホテル投資額は 3,780 億円 (25.8 億米ドル) に達し、2023 年同期比で 64% 増となりました。直近で JLL がアドバイザーを務めた「ヒルトン福岡シーホーク」のエムエル・エステート株式会社への売却を含め、市場では大型取引が複数みられることから、JLL は 2024 年通年の投資額を 6,000 億円 (41 億米ドル) と予測しており、JLL の統計史上最高額を記録する見込みです。

JLL について

JLL (ニューヨーク証券取引所: JLL) は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。オフィス、リテール、インダストリアル、ホテル、レジデンシャルなど様々な不動産の賃貸借、売買、投資、建設、管理などのサービスを提供しています。

フォーチュン 500® に選出されている JLL は、世界 80 カ国で展開、従業員約 110,000 名を擁し、2023 年の売上高は 208 億米ドルです。企業目標 (Purpose) 「Shape the future of real estate for a better world (不動産の未来を拓き、より良い世界へ)」のもと、お客様、従業員、地域社会、そして世界を「明るい未来へ」導くことが JLL の使命です。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。 jll.com

お問い合わせ: FGS グローバル(JLL 広報代理)

E メール: JLL-TYO@fgsglobal.com 長谷田 (080 9898 5591) 多田 (070 3857 8698)